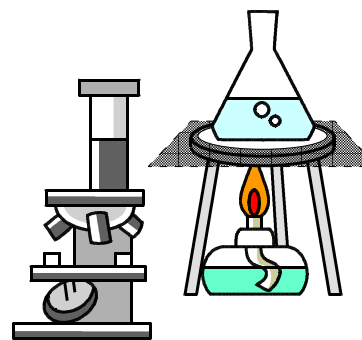


# 理科の勉強法

## 授業の受け方

- (1) 休み時間の間に学習用具を準備し、忘れ物がないか確認する。
- (2) 教科書などを先生や他の人が読んでいるときは、目で追いつながら聞き、大事なところはアンダーラインを引く。  
(先生の「ここは大事だよ!」とか、「ここに注目!」などの言葉を聞きのがしたらダメ!)
- (3) 板書は内容を確認しながら丁寧に書き、色ペンなどを使って、わかりやすくまとめると復習のときに助かります。
- (4) 観察・実験は意欲的に取り組もう。知識をより確かにし、理解を深めます。
- (5) わからないところや質問などは、休み時間や放課後などを利用して積極的に聞き、早く解決しましょう。
- (6) 宿題が出たら忘れないようにメモしましょう。



## 家庭学習の仕方

- (1) 教科書やプリントなど、その日に習った内容のところを読んでみる。アンダーラインを引いたところや太い字で書かれているところは、特に注意して読む。
- (2) 覚える必要がある語句を何回か書いてみる。(家庭学習ノートにやるとよい)
- (3) 覚えるだけでは不十分です。しくみや理由がわかっているかも確認しよう。
- (4) ワークや練習問題も解いてみよう。わからない問題はそのままにせず、教科書やノート、参考書などで調べながら、わかるまで学習しよう。
- (5) 次時の内容も読んでおくとさらにいいでしょう。(予習→授業→復習と3回やることになる)

## テスト勉強の仕方

- (1) テスト前に、今までやったすべてのページやプリントをやるのは難しいので、普段から、特に大事なところをチェックしておきましょう。先生の説明の中で「ここは大事です。」などの言葉をこまめにチェックしておきましょう。
- (2) まず、自分がどれくらい理解しているかを考えて下さい。  
だいたいわかっていると思う人 → 問題を中心に解いていく。  
あまりわかっていないと思う人 → まず、教科書を読むことから始めよう。
- (3) 観察・実験を中心とした問題が出題されます。教科書にある重要な観察・実験については、何用や考えをまとめるだけでなく、目的・準備(器具名など)・実験方法なども整理しておきましょう。

## 受験勉強の仕方

- (1) まず、「ものはためし」です。過去問(過去の県立高校入試問題)を解いてみましょう。入試問題は、1年の範囲、2年の範囲、3年の範囲とバランスよく出題されています。まだ、習っていない問題はしょうがないですが、すでに習っている範囲の問題ができていないと困りますね。自分のできなかつた分野は教科書も戻ってしっかりと復習して下さい。
- (2) 入試問題にも「よく出題される場所」というのがあります。先生に確認するなどして、効率よく取り組むことも大切です。わからないところは、どんどん質問しましょう。どうしていいかわからないときには、遠慮なく相談に来て下さい。